

フードバンク

すく かつどう
～いのちを救う活動～

フードバンクってなに？



フードバンクとは、家庭や企業から提供される食品を生活に困っている人たちが児童養護施設にお金をもらうことなく、提供する活動のこと。家庭では予定外に食品が余ってしまったり、企業ではまだ安全に食べられるのに包装の印字ミスや外箱がへこんでしまったりなどの理由で、商品として販売ができない食品があります。そうした食品をすてることなく、有意義に活用しているのです。また食品以外にも生活に欠かせない日用品も提供しています。

フードドライブ<食品の回収>にご協力ください！

食品回収 BOX



みんなにもできることがある！

今の日本には満足に食べられる食事が学校の給食だけというみんなと同じくらいの歳の子どもが、目に見えないだけでたくさんいます。どうしてそのようなことが起こってしまっているのでしょうか？シーガルのみんなで、今の日本で起こっていることについて知ろう。そして一人でも多くの子どもがごはんを食べられるよう「いのちを救う活動」に協力するんだ！

日時：11月4日（月）祝日 13:00～15:00

座学にて、「フードバンク」とそれを取り巻く現状について学んでいただき、実際にお持ちいただいた食品の仕分けと持ち込み可能食品であるか、確認していただく作業を行います。

場所：シーガルスクール2nd

受講費：無料

学年：小1～小6

定員：15人

持ち物：上履き、筆記用具

寄付する食品（あれば）

※寄付のみのご参加も受け付けております。

11/4（月）までにシーガルスクールにお持ちください。

※お申込みの際は、火～木13:00～17:00、土9:30～18:30の間にお電話ください。

※定員になり次第締め切らせていただきますので、お早めにお申し込みください。

※ご参加いただく方には、なるべくご自宅にフードバンクにご寄付いただく食材をお持ちいただきますよう、お願いいたします。

<保護者の方へ>

1980年代にアメリカ合衆国から始まった企業や個人から余った食品などを集め、生活困窮者を支援する活動であるフードバンク。日本でもコロナ禍で『フードバンク』の需要が増え、注目を集めている昨今。新型コロナウイルスの影響で仕事が減るなどしてフードバンクに頼らざるを得ない人たちが増えています。自分たちと同じ小学生の子が「給食がないから、夏休みや冬休みになってほしくない」と苦しんでいます。今回はそんな子どもたちを救うフードバンクの活動・仕組みについて学んで行く中で、自ら行動を起こすことの意義を学びます。またボランティア活動を通して、人に手を差し伸べることのできる優しい心を育む機会となることでしょう。

各ご家庭よりお持ちいただきました食品は、シーガルスクールが皆様に代わって「名古屋生物多様センター」へ持ち込み、認定NPO法人セカンドハーベスト名古屋を通じて生活に困っている方に届けられます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



随時受付中

052-800-0931

シーガルスクール2nd